

生産、消費は堅調 住宅着工は4カ月ぶりに回復

5月の鉱工業生産指数は、前年同月比で2カ月連続のプラスとなった。輸送機械工業が同▲28.4%と低下した一方で、電子部品・デバイス工業が同+32.6%、化学工業も同+10.3%となり、生産活動を牽引した。

6月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）では、既存店（店舗調整後ベース）で同+6.9%と27カ月連続でプラスを維持。ドラッグストアは同+3.7%と25カ月連続でプラス、家電大型専門店は5月の▲3.1%に対し、6月は+7.6%と大きく改善するなど、消費は概ね堅調に推移している。

新設住宅着工戸数は、前年同月比で4カ月ぶりのプラス。中でも貸家は前年同月比で大幅増となり、住宅需要を下支えした。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数

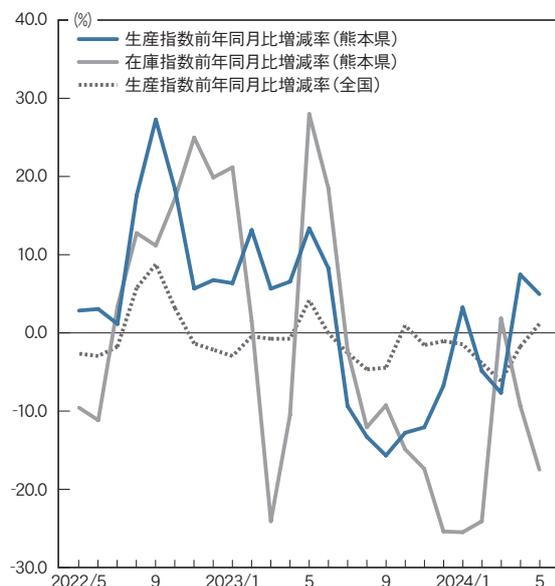


2カ月連続前年比プラス（5月）

5月の鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比+4.6%の112.1と2カ月連続でプラスとなった。

生産指数（原指数）を業種別にみると、電子部品・デバイス工業（前年同月比+32.6%）や化学工業（同+10.3%）などの業種で上昇したが、輸送機械工業（同▲28.4%）や木材・木製品工業（同▲18.3%）などの9業種で低下した。なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路は129.1（同+34.1%）と8カ月連続で上昇した。また、出荷指数（原指数）は110.4（同+2.8%）と2カ月連続のプラス、在庫指数（原指数）は74.9（同▲17.5%）と2カ月連続のマイナスとなった。

鉱工業生産・在庫指数前年同月比（2020年=100 原指数）



資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



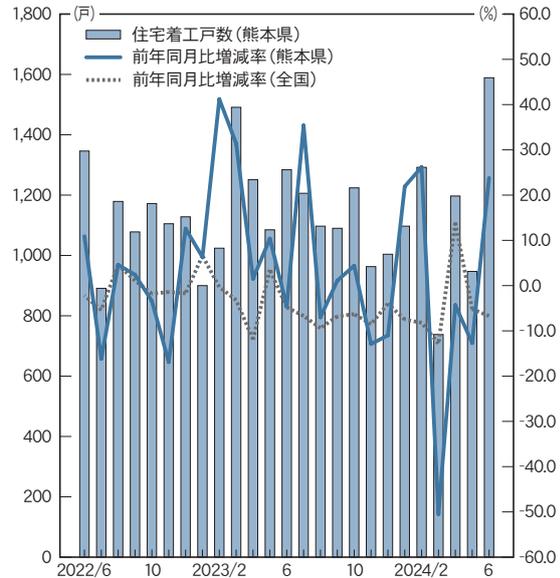
着工戸数は4カ月ぶり前年比プラス(6月)

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+23.8%の1,589戸となり、4カ月ぶりのプラスとなった。着工戸数が1,500戸を上回るのは2020年5月以来。

利用関係別にみると、持家が337戸（前年同月比▲2.3%）、貸家は851戸（同+97.9%）、分譲は399戸（同▲21.3%）となっている。持家が前年同月比を下回るのは17カ月連続となった。一方で、貸家は前年同月比で大幅増となっており、住宅需要を下支えした。

なお、全国の6月の新設住宅着工戸数は、66,285戸（同▲6.7%）となっており、2カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は2カ月連続の前年比プラス(7月)

7月の公共工事件数は前年同月比±0.0%の557件となり、請負金額は同+3.7%の328億円と

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

